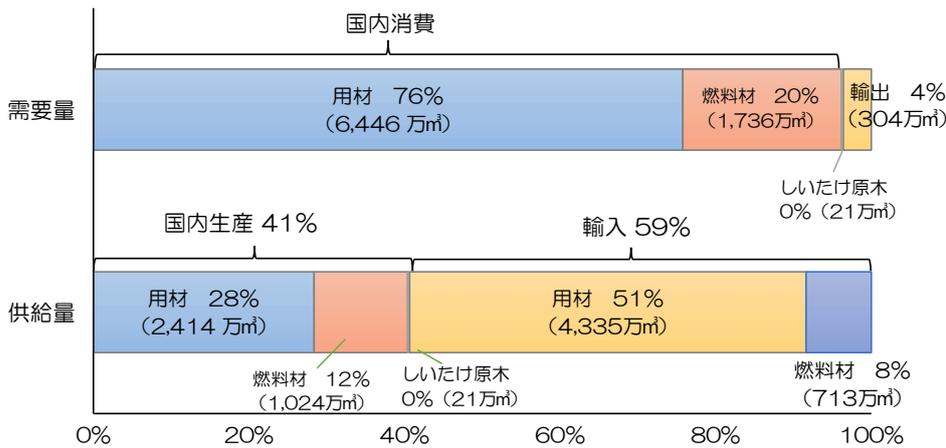


● 木材供給量の4割が国内生産、自給率は上昇傾向。

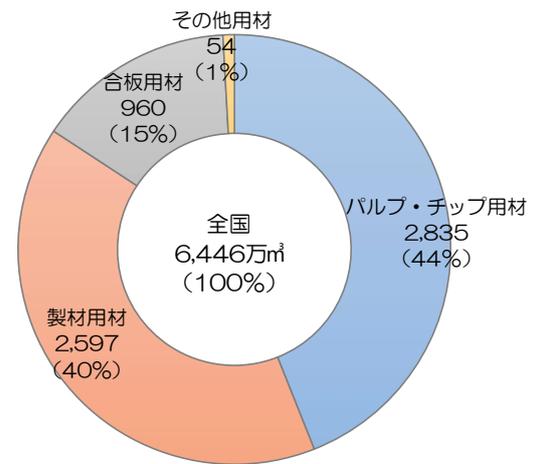


- 木材需要量の国内消費のうち用材が76%を占め、燃料材が20%となっています。また、輸出は4%となっています。
- 木材供給量は国内生産が41%、輸入が59%となっています。
- 用材を用途別に見るとパルプ・チップ用材と製材用材で8割を占めています。

◇木材需要量・供給量（令和4年）
＜全国＞



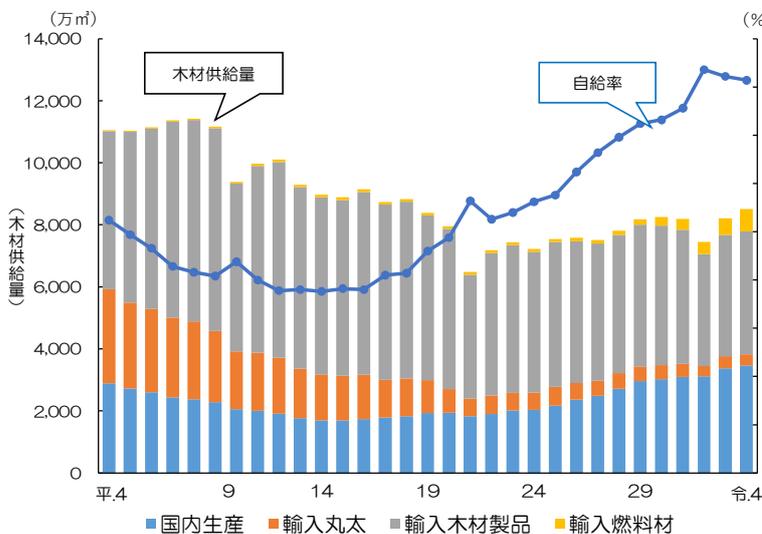
◇用途別の用材需要量（令和4年）
＜全国＞



資料：農林水産省統計部 『木材需給表』

- 国内生産の木材供給量は平成21年まで減少傾向でしたが、平成22年から増加に転じ、令和4年には3,459万m³となっています。自給率は上昇傾向で、令和4年は40.7%となっています。
- 製材用素材価格は、木材需要の低迷や輸入材との競合から低下傾向でしたが、近年は輸入材の不足や国産材の需要が高まりにより価格は上昇しています。

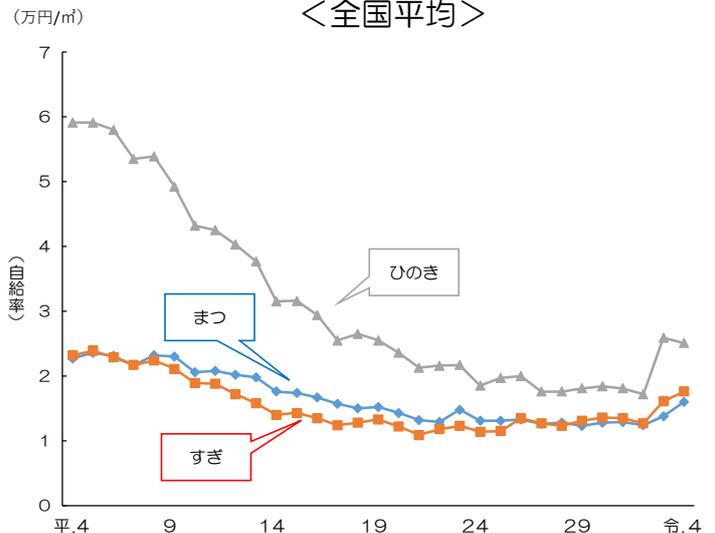
◇木材供給量と自給率の推移（全国）



資料：農林水産省統計部 『木材需給表』

注：輸入木材製品は、製材品、木材パルプ、木材チップ合板等です。

◇製材用素材価格の推移（丸太）
＜全国平均＞



資料：農林水産省統計部 『木材需給報告書』

注：価格は各樹種の「中丸太」です。